



教育関係者・事業者部門
《農林漁業者等》

消費・安全局長賞

はあとキッチン

(埼玉県) 活動期間 13年

子供同士で体験し、感じ、教え教わるという
五感をフルに使った体験型食育

親子を中心とした食育の推進

「食は命なり」をテーマとし、地域の子育て世代の親子を対象に、お米や野菜の栽培・収穫体験、弁当づくり、伝統食づくり等、五感をフルに使った体験活動（年間64回、のべ480人）を通じて、日本人の生活の知恵や伝統食文化、里山農業を大切にした食育活動を展開しています。



田植え体験

学習の機会の提供と情報発信

中学生には月1～2回土曜の夜に、また大人には夕食に合わせた栄養満点簡単料理会等、幅広い対象のニーズに合わせた調理体験を継続しています。また、2年に一度学習の機会として食育実践者による講演会、食育フェスティバルの開催、地元の「なめがわまつり」への出展等、学びの機会の提供と情報発信も行っています。



食育フェスティバルでの一幕

子供たちが主導の体験活動

小学4年生以上を対象とした「森のおむすび塾」と、4才以上小学3年生までを対象とした「ワクワク隊」は、自分ひとりで弁当づくりを行うことができる力を養うことを目標に、大人が教え込むのではなく、前年に経験した子供たちが先生役になって教え合う内容となっています。地域の農家と連携した農業体験では、種まきから精米までの一連の作業、餅つきやしめ縄作りまでを行ったり、味噌づくりを行ったりします。1年後に渡される修了証は、写真とエピソードが書き込まれた活動記録で成長が実感できます。



ワクワク隊でのお弁当作り



このような機会をいただきましたのも、日頃よりご支援くださっている皆様のおかげと感謝申し上げます。「食は命なり」という思いを土台として、これからの時代を逞しく、しなやかに生きられる子供たちを、地域ぐるみで育てていきたいと思ひます。

はあとキッチン 主宰 岩崎 千恵子